



やまたん



今年も
よろしく

楽しい～

雪山においでー

2025 年

2024年12月20日 入笠山にて

1月の定例会は
1月7日(火)19:00～
我孫子北近隣センター並木本館

定例山行計画

ご案内



定例山行計画 第37回房総ハイキング (県連) さと海さと山:勝浦		リーダー:小島洋 グレード:1A	
月 日	2025年 1月25日(土) 日帰り		
山 域	勝浦	日の出日の入りなど	日の出6:49 日の入り16:54
目 的	勝浦の岬を巡る		
費 用	約 4,000円 (大人の休日 2,800円)	交通機関	JR
行 程	我孫子 5:59→新松戸 6:13/19→幕張豊砂 6:48/54→蘇我 7:08/18→上総一ノ宮 7:59/8:04→勝浦 8:35/ 勝浦 8:50⇒遠見崎神社⇒八幡崎公園 (昼食) ⇒河津港⇒津慶寺⇒勝浦駅 14:20/電車 15:01 →上総一ノ宮 15:35/39→海浜幕張 16:32/16:52→新松戸 17:24/17:27→我孫子 17:42 歩程時間 5時間30分 (休憩時間を含む)		
個人装備	一般街歩き装備		
メ モ	*勝浦の街歩きです。電車で勝浦までは乗り換えが多い。 *駅のトイレが少ないので列車内で済ませてください。 *雨天中止の場合は1月22日(水) 19:00時各会窓口にメール配信		

準定例山行計画 九鬼山 (970m)		リーダー:佐藤清宏 グレード:2A	
月 日	2025年 1月26日(日) 日帰り *天候が悪い場合は 2/1(土)か2/2(日)に延期		
山 域	中央沿線	日の出日の入りなど	日の入 17:05 (都留市)
目 的	桃太郎伝説の山に登り富士山を眺める		
費 用	約 3,100円 (休日お出かけパス利用)	交通機関	JR・富士急行線
行 程	我孫子 5:32 →新松戸→西国分寺→高尾→猿橋 8:06 / 8:20 ⇒ 神楽山 ⇒ 御前山 (厄王山) ⇒ 沢井沢ノ頭 ⇒馬立山 ⇒札金峠 ⇒紺場休場 ⇒九鬼山 ⇒愛宕神社⇒ (道の駅つる) ⇒ 禾生 15:24 → 大月→西国分寺→新松戸→我孫子 18:22 16:09 19:10 < コースタイム:5時間40分 距離:8.9km のぼり:1013m くだり:918m >		
個人装備	日帰り装備一式 +軽アイゼン・スパッツ		
メ モ	*九鬼山は秀麗富嶽十二景の山です。富士山が眺められない天気予報の場合は延期します。 ○桃太郎伝説のある山です。 ○富士急行線は電車の本数が少ないので時間調整で道の駅つるに立ち寄ることがあります ◎地図読みの研修を行います。		

定例山行計画		宝 登 山 (497m)		リーダー:篠塚 グレード:1A
月 日	2025年2月23日(日) 日帰り			
山 域	北武蔵	日の出日の入りなど	日の出6:20 日の入り17:30	
目 的	新人卒業山行(登山計画・テント設営・ごはん作り)			
費 用	約4,400円	交通機関	自動車2台	
行 程	我孫子6:00→柏IC→大泉→花園IC→長瀬駅周辺8:15/8:30⇒宝登山神社 ⇒宝登山山頂10:20/10:50⇒長瀬駅周辺⇒荒川川岸12:20/13:20⇒長瀬駅周辺13:30 →花園IC→大泉→柏IC→我孫子16:30 <歩行時間:3時間10分>			
個人装備	日帰り装備一式			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・テント張り演習は、山頂にて実施します。 ・ごはん作りは、荒川川岸にて実施します。 ・雨又は雪の場合は、延期とします。 ・自動車2台に分乗していきます。 ・新人対象の卒業山行です。一般募集はしません。 			

定例山行計画		箱根峠 (846m)		リーダー:矢野朝 グレード:1A
月 日	2025年4月11日(金)~12日(土) 1泊 ゲストハウス泊			
山 域	箱根山城	日の出日の入りなど	日の入り18:00	
目 的	東海道の難所箱根峠を越え、江戸の昔を偲ぶ。			
費 用	約1.5万円(ジパング利用)	交通機関	JR	
行 程	1 日 目	我孫子6:27→東京7:16/27 こだま705号→小田原8:00/04→箱根湯本8:19⇒早雲寺⇒畑宿⇒榎木坂⇒甘酒茶屋⇒芦ノ湖⇒成川美術館⇒ゲストハウス「ルミ」16:00⇒箱根神社⇒ゲストハウス「ルミ」17:00⇒夕食18:00~ <歩行時間:約8時間>		
	2 日 目	ゲストハウス「ルミ」7:00→朝食7:05/30⇒杉並木⇒箱根関所⇒箱根駅伝中継所⇒箱根峠⇒山中城跡⇒三嶋大社⇒三島駅16:27 こだま730号→品川17:11/35→我孫子18:30 <歩行時間:約8時間>		
個人装備	登山靴でなく、ウォーキングシューズで十分です。雨具は必要です。			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・東海道の難所箱根峠を越えて江戸の昔を偲びます。所々に石畳の道が残っています。 ・日帰りでも歩くことは可能ですが、元箱根の「箱根神社」や「成川美術館」に寄るなどしてゆっくり歩きます。「成川美術館」は著名な日本人画家の作品を展示しています。10人以上は団体割引で一人1,300円。 ・宿泊は芦ノ湖周辺のホテルは高いので元箱根のゲストハウス「ルミ」を15人予約しています。住所;元箱根73番地。箱根神社の赤い大鳥居近く。TEL;090-1704-7318。素泊まりで一人4,000円。15人予約しましたが、15人を超える場合も近くのアパートで宿泊可能。当初予定していた民宿「大場」は廃業したので紹介いただきました。 ・夕食は近くのイタリアン「ラ・テラツア芦ノ湖テラス」を予約します。私がこれまで食べたイタリアンでは量・味とも最高でした。一人2,000~3,000円。外人客が多い。 ・2日目の朝食は近くのコンビニで済ませたいと思います。 			

※この山行は来期の山行で、総会確定後定例山行になる予定の計画です。

定例山行報告

定例山行報告		立山三山縦走 (2,831m:浄土山~3,003:雄山~2,880m 別山)		リーダー:細谷 グレード:3D
月 日	2024年11月23日(土)~25日(月) 2泊 テント泊			
山 域	立山	日の出日の入りなど	日の出 6:35 日の入り 16:36	
目 的	厳冬期の立山			
費 用	約 30,000 円	交通機関	マイカー、アルペンルート	
行 程	1 日 目	前日 我孫子 20:00→五竜ドライブステーション 1:00 (仮眠) 6:30→扇沢 7:30/8:30→アルペンルート→10:00 室堂ターミナル 10:30⇒雷鳥荘 11:00⇒雷鳥沢野営場 11:30 (テント設営) 12:30⇒雷鳥荘 13:00 (トイレ・水補給) 13:30⇒雷鳥沢野営場 14:00 (宿泊) <歩行時間: 3時間>		
	2 日 目	雷鳥沢野営場 6:20⇒雷鳥荘 6:40/7:00⇒一の越 8:50・9:20⇒雄山 10:30/11:20⇒一の越⇒雷鳥荘 14:20/14:40⇒雷鳥沢野営場 15:00 (宿泊) <歩行時間: 7時間>		
	3 日 目	雷鳥沢野営場 6:00⇒雷鳥荘 6:20/6:40⇒雷鳥沢野営場 7:00/9:40⇒雷鳥荘 10:00/10:15⇒みくりが池温泉 11:00⇒室堂ターミナル 11:25 (昼食) /13:00⇒アルペンルート⇒扇沢 14:30/15:00→ (途中入浴・夕食→我孫子 21:30) <歩行時間: 4時間>		
ル ー ト 状 況	行動範囲には危険箇所は無し			
参 加 者	男 2名 計 2名			
メ モ	室堂ターミナル前の仮説野営場は積雪が少ない為、利用禁止となり、雷鳥沢での野営となる。入山前日より積雪があり、山岳救助隊より、縦走路は凍結の上の積雪があり、滑落到危険性が高いので、入山は自粛してほしいとの要請があった。 2日目以降天候は回復したが、リスク、体力面を考慮し雄山ピストンのみの山行に変更した。			



雷鳥



雄山山頂



雷鳥沢にテントを設営(右)
みくりが池に逆さ立山(下)



定例山行報告	鶏足山 (430.5m) ~ 焼森山 (423m)		リーダー: 矢野朝、白崎 一氏 佐藤健 グレード: 1A
月 日	2024年 12月 1日(日) 日帰り		
山 域	栃木茨城県境山塊	日の出日の入りなど	6:32/16:26
目 的	忘年山行		
費 用	約 1万円(入浴、食事代含む)	交通機関	貸切りバス
行 程	<p>我孫子駅北口郵便局前 6:10→柏 IC より常磐高速に入る→友部 S A→友部 IC で高速を降りる→鶏足山登山口 8:00/10 (A, B 班) ⇒赤沢富士 8:40⇒ 鶏足山 9:15⇒ 焼森山 9:50⇒ 鶏足山登山口 10:40 (C, D 班) ⇒焼森山手前 9:40⇒弛み峠 9:50⇒鶏足山 10:10⇒見晴台 10:20⇒鶏足山登山口 11:30/11:45⇒ホロルの湯 12:15/14:45 (入浴 食事、ゲーム) →水戸 IC で高速に入る→友部 S A 15:30/45→谷田部 IC で高速を降りる→我孫子駅北口郵便局前着 17:30 < 歩行時間: 2 時間 30 分 ></p>		
ルート状況	4 班に分かれて A, B 班は鶏足山→焼森山、C, D 班は焼森山→鶏足山のルートを通った。ルートは整備されていた。		
参加者	A 班; 白崎 (L)、矢野貞 (SL)、北角、土田、小島洋、田嶋、北田、倉本 B 班; 一氏 (L)、小林 (SL)、鈴木忠、大賀、石塚、相見、大畠、中村育、田村、村松文 C 班; 矢野朝 (L)、竹内 (SL)、小野、飯塚、山田、平野、高橋芳、鈴木利、外崎 D 班; 佐藤健 (L)、佐藤明 (SL)、藤崎、中村八、小山、鈴木真、斉田 男 8 名、女 26 名 計 34 名		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象が常態化し天候が気がかりだったが、晴天で穏やかな小春日和に恵まれ、何よりだった。 ・焼森山への最短の登山道を C 班 L の矢野朝が間違い、遠回りになってしまった。6 月 17 日に下見を行い、記憶が薄れていた。下見をあまり早く行うのは考えものだ。ただ、遠回りして枯木の森を登ったのが良かったという会員がいて救われた。 ・当初参加者を募集したとき、43 名の参加希望があったが、最終的には 34 名となった。貸し切りバスの費用が高騰しており参加者が減ると一人当たりの負担が重くなるので、当初集めた 1 万円の範囲で収まるか危惧されたが、赤字をださずに済んだ。 ・当日の 1 週間前にキャンセルされた方にはバス会社のキャンセル料 (30%) に倣ってキャンセル料を頂くことにした。 ・当日のドタキャンが 1 名あった。ホロルの湯は当日のキャンセルは食事代を全額キャンセル料として支払う必要があり、前日までにキャンセルされた方はその都度ホロルの湯に連絡したのでキャンセル料は発生しなかったが、当日ドタキャンされた方は食事代もキャンセル料を頂くことにした。 ・成田線を利用される方の利便性を考え、出発時間を 10 分遅らせて 6:10 とした。 ・記念山行にはゲームが付きものなので岳人あびこの様々な側面について質問を作った。準備に時間がかかったが、岳人あびこについてよく知ることができた。 		



鶏足山をバックに全員集合



山頂にて



山頂からの展望



尾根の紅葉・黄葉



ホロルの湯

定例山行報告		入笠山 (1905m)		リーダー:外崎・新谷 グレード:1A
月 日	2024 年 12 月 20 日(金)～日(土) 1泊2日			山小屋泊
山 域	中央沿線	日の出日の入りなど	16:46 / 6:45	
目 的	アイゼンを付けて雪山を歩く。山小屋でクリスマスを祝う。			
費 用	約2万円	交通機関	JR、シャトルバス、ゴンドラ	
行 程	1 日 目	我孫子駅 6:13 (快速) → 柏 6:17 → 日暮里 → 新宿 7:14/7:30 (あずさ3号) → 富士見駅 9:42/10:00(シャトルバス) → バス終点 10:10 ⇒ ゴンドラ 10:30 ⇒ ヒュッテ入笠 11:20/11:30 ⇒ 入笠山 12:30/13:20 ⇒ ヒュッテ入 14:00 (宿泊) ＜歩行時間:1時間40分＞		
	2 日 目	ヒュッテ入笠 9:00 ⇒ 大阿原湿原散策 ⇒ ヒュッテ入笠 11:30/13:30 (昼食・団らん) ⇒ ゴンドラ乗り場 14:00 ⇒ バス乗り場 15:00 (シャトルバス) → 富士見駅 15:10/15:29 (中央線) → 小淵沢 (あずさ42号) 15:58 → 立川 → 新宿 18:05 → 我孫子 19:05 ＜歩行時間:2時間10分＞		
ル ー ト 状 況	パウダースノーが4～5センチ積雪し、歩きやすかった			
参 加 者	A班 新谷(L) 高橋(SL) 矢野裕、中村育、北田、小林安、土田、吉川、矢野朝、中村弘 B班 外崎(L) 武内(SL)、矢野貞、村越、藤家、白崎、田嶋、北角、大賀、鈴木 男7名、女13名 計20名			
メ モ	教育研修委員の企画としてクリスマス山行を計画。 スキー場が隣接していることもありパウダースノーの積雪が4～5cmで歩きやすかった。 夕食後は、ストーブのあるロビーで蝋燭を灯してクリスマス会を開催。 歌の合唱、名(迷)句作り、百名山クイズ、笑声が弾けて大いに楽しむ。 小屋は貸切で、塩釜ローストポークやハヶ岳信州サーモンマリネなど料理が素晴らしく美味しかった。ロビーではコーヒー、ハーブティがフリーで飲み放題。 夜は氷点下になるので1人1人に湯たんぽを入れてくれるなど小屋のホスピタリティが素晴らしかったので、来年の予約もする。 ゴンドラ1回2000円のところ、宿泊者は往復1300円と安くなっている(富士見市の経営)。			



湿原を歩く



山頂からは 360 度北、中央、南アルプス、富士山が眺望



山頂へ (上左)
山頂からのアルプス (上右)
クリスマス会
小屋のバイキング

日の出を待つ

運営委員会・山行部会議議事録

1

令和6年度 運営委員会(第10回) 議事録

令和6年12月17日(火)

1. 行事予定 (令和6年12月～令和7年2月) (巻末に掲載)

2. 各部より

《会長》 *今年の冬は降雪量が多い予報で、雪山を味わえそうで嬉しいです。気をつけて楽しみましよう。今年度も終わりに近づき、来期の役員決め相談をしています。皆で協力し合って決めていきたいです。よろしくお願いします。

《副会長》 *役員担当の声が掛かれば、極力引き受けていただきたいと思います。ご協力お願いします。(北田) 最近、昔のやまなみを読んだりしていますが、素直なありのままの文章を読むとても愛おしく感じます。皆さんも興味のある物を読まれると楽しいと思います。(矢野裕)

《総務部》 *2月拡大運営委員会会場は湖北台近隣センターに決定。3月総会日程と会場については抽選の結果を待って決める。市民プラザのホールは部屋代が割高になるが、夜間はほとんど空いているので、予約の選択肢に入れます。

*来期の会場予約係は2人体制に変更します。

*9月に入会手続きをされた山本ちはるさんは、ご家庭の事情で退会されることになり、会員数は61人になります。

《山行部》 *山行規定の修正案は引き続き検討中です。

《会計部》 *購入希望の会の装備品があれば予算に計上するのでお知らせ下さい。

*行事山行の下見費用をどこまで出すかについて次回検討することになりました。

*労山遭対基金担当より **次年度会費及び保険料を受付ます**

2/7(火) 18:15～並木本館(定例集會前)

3/5(日) 13:00～湖北台近隣センター(総會前)

金額:年会費9千円、保険料2千円+α(口数増加分) 詳しくは別添付参照

《装備部》 *大平さんから未使用のベルト式10本爪アイゼンの提供がありました。

《会報部》 *やまなみに自分が写っている写真を掲載する事に反対の人は、12月中に担当者までメールでご連絡ください。(現時点では指摘者ゼロ)

《県連》 *来年度のカレンダーを11部配布しました。12月19日に対面の理事会、来年3月1日に合同会議、3月8日午後12時30分から女性委員会のワンコイン講習会(石田良恵講師による講習)を行います。詳細はちばニュース1月号に掲載します。会場は船橋市西部公民館(下総中山)。参加者交通費は当会で負担します。

*労山基金は3月1日～翌年2月末日を1年としているので、3月1日以降に退会する場合は1年分の掛け金を払わなければならない、返金はありません。

*2月の定例会か3月の総会の時に、継続申込用紙と共に費用を払ってください。

*ゲレンデスキー場での事故は、スキーが山行の一部として計画に入っている時のみ保険が適用されます。

1月定例集會司會	武内さん	やまたん原稿 締切り	1月号	12月25日(水) 小山さん
			2月号	1月25日(土) 福山さん

村越、北田、矢野裕、郷田、室崎、白崎、矢野貞、細谷、佐藤清、武内、大島、秋山、千葉、森岡、田嶋、小林安土田、一氏、中村八、藤家、中村育、松下、矢野朝、高橋芳、(運営委員24名)

1. 山行部より

過日の忘年山行で、4班中2班が予定したルートとは異なるルートを歩いたという事態が起きました。最終的に遠回りしたものの、下山時刻には間に合いましたので大事には至りませんでした。実はもう1班もルートを間違えそうになっていました。低山ではさまざまなルートが拓かれ、それらが錯綜していたりするという事情もあるものの、どうも「地図読み」がきちんとできていないことに原因があるように思えます。「地図読み」とは平面の地図を元に、立体のイメージを頭のなかに描く作業です。ルートは沢筋を辿るのか、尾根を登って行くのかを立体イメージのなかで描ければ、ルートが尾根を外して巻くようなルートが付けられていたらそこにはきっと何かあると気づけるでしょう。尾根を乗り換えるようなルートが付けられていたらそこは要チェックポイントだということもわかります。

先月の県連の事故防止・経験交流会で、広島県連での事故報告がありましたが、その滑落死亡事故も「地図読み」、つまり立体的なルートイメージがリーダーを始め参加メンバーの頭のなかに形成されていれば、防げたと思われる事故でした。詳しくは、またの機会にお話しさせていただけたらと思います。

(山行部長)

2. 山行計画

(巻末に掲載)

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
1/7 (火)	新人	定例集会	テント生活の基本 (テントの設営、撤収、ガスを使用して調理)	秋山・千葉	
1/7 (火)	全員	定例集会	植物を通しての自然保護の視点	小野	
2/4 (火)	新人	定例集会	山での怪我・事故の応急手当	外崎	
2/4 (火)	全員	定例集会	一年を振り返って	総務部	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
1/17-18 (金土)	塔ノ岳～丹沢山	参加者	雪の丹沢を歩く	高橋芳
2/9 (日)	鹿俣山～獅子が鼻山	参加者	雪山ハイキング	千葉
2/23 (日)	宝登山	新人	卒業山行	秋山・千葉

4. 山行報告

山名	参加者数		山行NO 1333	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
11/21-22 (木-金) 矢筈山・遠笠山	8	1	1333	室崎	齊田 新谷	無し	矢筈山は岩と苔だらけの山だった
11/23 (土) 三ツ峠	14		1334	相見	佐藤明 山田	無し	電車ハット有
11/23-25 (土-月) 立山	2		1335	細谷	鈴木忠	無し	テン場を雷鳥沢に変更 山岳警備の要請で縦走から 雄山ピストンに変更
11/24 (日) クリーンハイク	12				矢野裕	無し	
12/1 (日) 鶏足山～焼森山	34		1336	石塚/小山/ 山田/小島 洋	小野/藤崎 /北角/鈴木 忠	無し	無し

5 忘年山行の報告

申込 40 名、参加者 34 名で実施 参加者には 200 円返金予定、返金後の余剰金は会会計に寄付。
キャンセル料の返金について 1 週間前までは全額、前日まではバス代の 30%、
当日はバス代食事代の返金無し

6. 来期新リーダー等について

鈴木忠さん、大賀さん、北角さんの 3 名が新たにリーダーに加わります。
郷田さんが体調不良の為、リーダーから下ります。
齊田さん、中村育さんがリーダーに復帰します。

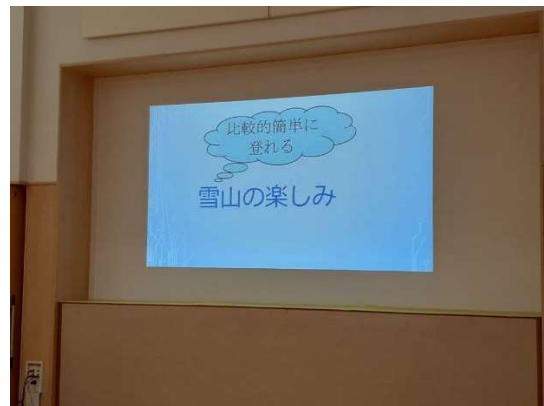
7. 来期希望山行の集計結果

重複している山などを整理し、リーダーが決まっていなかった山の担当を振り分けていましたが、
決まっていなかった部分がまだ多く、来月の会議で詰めていきます。

(リーダー) 外崎 高橋芳 大島 武内 千葉 矢野貞 本田 矢野裕 村越 大平 北田 藤家 新谷 石塚
小島洋 小林安 佐藤清 蟹江 森岡 白崎 田嶋 小島徹 秋山 松下 小野 矢野朝 土田 一氏 細谷
吉川 北川 佐藤健 郷田 小山 室崎 飯塚 富井 (進行) 鈴木忠

「雪山の楽しみ」

講師 小林さん 千葉(有)さん



・お二人のお話から、雪山の楽しみがよく伝わってきました。
たくさんの写真から、雪山の素晴らしさを味わいたいと思いました。
ただ、寒いのが苦手・装備を揃えるのがたいへん・雪崩にあうのでは、
などの考えが先立ち、なかなか雪山山行には踏み出せない自分がいます。

・雪山でしか観ることの出来ない素敵な景色の数々、雪洞の中や食事の様子等楽しさや魅力が十分に伝わってきました

・小林さん、千葉さんの「雪山の楽しみ」は、雪山の魅力をたっぷり説明してくださいました。
雪を踏み、空を眺め、冷気を感じ、全身で雪山に相對している経験。
言葉の説明も良かったです。
白崎さんの迫力ある写真も大きく貢献していました。
時には暴風に近い天候に遭遇したエピソードはハラハラして聞いていました。
それも含めてなんて羨ましい山行なんだ！！と思いました。
私が「もう少し若かったら」とか「体力があったら」などと身の程をわきまえずに考えていました。
沢野ひとし氏「ふたたび山へ」の言葉が印象的です。
「冬山の静寂さに惹かれた者は、取り憑かれたように山に向かう」。
納得出来たような気がします。

・雪と寒さを乗り越えて厳しい冬山を悠々と登られ、素晴らしい写真の数々に魅了されました。いつか、チャレンジしたいという思いになりました。
天候により、状況が激しく変化する様子も想像以上に厳しいと学ぶことが出来ました。

相見 真由美さん

「なぜ山にのぼるのか。そこに山があるからだ」と、かの有名なセリフを述べてみたいものだが、それが言える程かどうか。私と山の間をさかのぼってみたいと思う。

東京都江戸川区で生まれ、小学生になる頃に我孫子に移転してきた私にとって、山と言えば富士山。しかも北斎の絵や、テレビで観る程のものであった。

最初の接点は、新卒入社で直属の部長の趣味が登山、というものかもしれない。

その次に思いあたるのは、ツーリングで筑波山へ行き、ロープウェイで上へあがったこと。登山としての記憶は、15年ほど前『山ガール』ブームの頃と思う。大学時代にワンダーフォーゲル部だったという、当日勤めていた会社のおじさんに連れて行ってもらったのが初めてかもしれない。

その時に山の面白さに開眼し、春～秋に月2回、関東近郊で登る、というのを2、3年したが、おじさんが定年退職し、お互いの住所が東西で離れていたため、山に登るのが途絶えてしまった。

今から2年前に、旅行ついでに安達太良山に行った。ロープウェイで登ると、一面真っ白ではないか！！GWなのに、雪が残っている！？ヤダ！！寒い嫌いなのに！！聞いてないし！！と同行者を呪いながら登ったものだ。本当に雪があるなんて想定していなかったため、山用装備はシューズと雨具のみ。その他はフターのスポーツ服で防寒具なし。途中、雪道に派手に転んだり、耳が痛くなったり、寒すぎて同行者の衣類をもぎ取ったり。今思うと、よく生きて帰って来れたものだ。皮肉なことにこの日が強烈に印象に残り、「機会があれば山にまた行きたい」と気持ちが再燃したのである。

忘れもしない2024年の夏。共通の趣味コミュニティにいるYさんが「私、今、山にはまってるの！」と目を輝かせているではないか。聞き捨てならぬ、そのセリフ。

「私も行きたい！入れてください！」と即座にどの山であろうとゲスト参加することを決めたのだ。そして岳人あびこの皆さんと、日光は赤薙山へ赴いたのである。複数人で楽しく素晴らしい景色を観ると、「楽しい！！嗚呼、山はいいなあ」と思い、今に至る。

さて最初の質問に戻ると、私の回答は…「行きたいから。以上 マル」である。



山行計画と行事予定

■ 山行計画

日程	分	山名	山域	L/企画者	G	備考(目的)
1/12 (日)	定	行道山	足利	石塚	1A	陽だまりハイク 【募集済み】
1/17-18 (金-土)	準定	赤岳	八ヶ岳	白崎	3D	厳冬期に八ヶ岳に登る 【募集済み】
1/17-18 (金-土)	定	塔ノ岳～丹沢岳	丹沢	高橋芳	2B	雪の丹沢を歩く 【募集済み】
1/25 (土)	定	勝浦	勝浦	小島 県連	1A	県連の親睦 勝浦の岬を巡る
1/26 (日)	準定	九鬼山	中央線沿線	佐藤清	2A	桃太郎伝説の山に登り富士山を眺める
1/31～2/2 (金-日)	準定	巻機山山麓	三国山脈	白崎	2C	雪山登山の実践トレーニング 【募集済み】
2/7～2/8 (金-土)	定	縞枯山～茶臼岳	八ヶ岳	村越	2B	雪の八ヶ岳を歩く 【募集済み】
2/9 (日)	定	鹿俣山～獅子ヶ鼻山	上越	千葉	2B	雪山ハイキング 【募集済み】
2/23 (日)	定	宝登山	奥武蔵	千葉	1A	新人卒業研修
4/3-4 (木-金)	仮定	箱根峠	箱根	矢野朝	1A	東海道箱根峠を越え、昔を偲ぶ

■ 行事予定 (令和6年12月～令和7年2月)

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	1月	7 (火)	定例会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		21(火)	運営委員会+山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	2月	4 (火)	定例会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		16 (日)	入会説明会 拡大運営委員会+山行部会	湖北台近隣センター	11:00～12:00 13:00～17:00
	3月	2 (日)	総会 第一回定例会	※別途	13:30～17:00
		18(火)	運営委員会+山行部会	市民プラザ	19:00～21:00
県連	1月	16 (木)	理事会		19:00～21:00

*山行報告書の提出先 gaku.abi01@gmail.com (会報部メールアドレス)